

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 4年 8月 5日

事業所名 放課後等デイサービス 星の王子さま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	天候などを考慮し戸外活動を行ったり、部屋の家具等のレイアウトなどを工夫している。	訓練室等スペースは法定基準を満たしているが、利用者の増加により狭く感じることがある。さまざまな工夫をし、なるべく広く使えるよう考慮していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		日々の人員配置は法定基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	安全に過ごせるように段差をスロープなどに行っている。	利用者に応じた安全性の確認をし、今後改善してゆきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	PDCAサイクルを設けての業務改善は図れていないが、ケース会議や職員会議等を行い、職員全体での参画を心がけている。	PDCAサイクルを用いて、ケース会議などを行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	アンケートを年1回行っている。	可能な限り業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	法人の内部監査・当事業所職員以外の職員の評価を受けている。	評価結果を職員間で共有し、業務改善に努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	コロナで研修が受けづらくなっている。	コロナの影響で研修の機会が失われているが、例年であれば県や相談事業所主催の研修に参加している。コロナが落ち着いたら、是非研修に参加したい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		アセスメントツールを使用していないので、今後保護者や相談支援センターに問い合わせなどをして活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	職員会議を月に1度行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	個別支援計画の更新と共に定期的に見直すようにしている。	利用者の現状を細かく把握したり、保護者のニーズが反映される個別支援計画をもとに教材等を工夫し用意している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		状況別に応じた課題を設定していないので、今後取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	計画作成の時に保護者に組み合わせた提案をしている。	個別活動と集団活動をバランスよく計画に反映できるように、提案をし作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		支援開始前に利用者の近況や注意事項や送迎予定など打ち合わせをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	6	緊急性のある事例については、その都度職員間で話し合っている。	時間がある時は支援終了後に打ち合わせをしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		ケース会議や日々の打ち合わせなどで共通理解を図るようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	3	その都度必要と考えられる活動を工夫している	ガイドラインをもっと活用していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	児発管が主に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6	・医療的ケア児が居ない ・経験がない	現在、医療的ケアが必要な利用者はいないが、受け入れる場合は柔軟な対応をしてゆく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		保護者の方の了解のもと、就学前に利用していた施設と情報共有をしてゆく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	問い合わせがあった際には情報を提供している。	障害福祉サービス事業所等へ移行する際や情報を必要とした際に支援内容等の情報の提供をしてゆく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	その都度連絡を取り合っている。	相談支援員の方に保護者との面談時に同席して頂いたり、その都度電話や訪問で助言を頂いたりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	なかなか交流がもてない。	現在、コロナで交流ができていないが、落ち着いたらその場の機会を検討してゆく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		理事長が参加している。会議の内容を職員に周知していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	相談事をしっかり聞き、適切なアドバイスを心がけている。	面談時や随時相談を受けた際にペアレント・トレーニング等の支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	コロナの影響があり難しい。	保護者会等がないため、親子行事で保護者同士の交流の場を設ける予定だったが、コロナの影響で中止が続いている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	苦情があった際には迅速に対応し、職員の共通理解を図っている。	苦情マニュアルに基づいて対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		月に1回のお便りの発行、随時Twitterなどに発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		伝達方法や分かりやすい説明を個々に検討していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		6	地域との関わりはまだ検討中。	コロナが落ち着いたら、地域の方と交流できるような行事を検討してゆく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	各種マニュアルは整備してある。	周知の方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	虐待防止委員会は設置してある。	コロナが落ち着いたら、研修の機会を設けたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	現在、身体拘束に該当する事案はない。	興奮・パニック等で他者への危険がある場合は、職員とマンツーマンで個室対応をすることがあるので、その場合には事前に保護者に同意を得ておく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		事前に保護者から伝えていただき、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			